

(第46号)

The School Health (No. 46)

学校保健

財團法人 日本学校保健会会報

印刷所 伊東進歩堂
東京都文京市東青柳町30

価額1部15円(送料共)

印刷所 伊東進歩堂
東京都文京市東一ツ柳町30

東京都文部省教育局

価額1部15円(送料共)

うめつ 回顧

今、まさに本年度の第12回全国学校保健大会が静岡において開会されようとしているとき、大会の回顧と展望をしつ、本大会に参与することはきわめて意義のあることではないであら

制度上確立していないことをとりあげ、学校保健の振興は何よりも制度の整備にあり、これがための活動の拠点を全国学校保健大会におこうと、いう動きが、第3回の香川大会から正式に発足したのである。

ないのではないか。
この点に立つて、青森大会の反省と申しあぐりを承認し、その徹底と成果の大きかれと望むとき、関係者全員の発言できる少人数の班別研究によつて本大会を組織することが要望されたのである。

別研究への考え方に対するを得ないであろう。したがつて、本大会は、班別研究の事後処理という、今期後の大きな仕事が残されることになるであろう。

大会は、今後も種々の状勢に動かされて、そのもちらも変化することをおもう。しかし、本大会が歴史的意義を立つておるから、

いて康にをたを成的格教
。行な充重つ變吾の育
わ國ちんとしと國完の
（へ）な民たじび、しま成目
教けの心、個て及を的
育れ育身自勵人真びめ
基ば成と主勞の理社ざ教
本なをも目的と価と会し
法ら期に精責値正の平は
（）なし健神任を義形和人

全国学校保健大会の回顧と展望

この大会が大正11年全国聯合学校衛生大会の名で発足した当時は、そのつどいが学校医、学校歯科医を中心をおいたのは自明のことであつた。戦後再開されたこの大会は、昭和22年、全国学校衛生大会の名で、東京において開催され、教育基本法、学校教育法の施行された年であるのに鑑み、教育にとけこむ学校衛生への態度が示され、学校衛生再建の熱意が云されたのも、けだし当然のことである。

爾来、年々回を重ね、この大会が“全国学校保健大会”的名によつてその第1回を開いたのは昭和26年、福岡においてであった。

この間、学校長、戦後設置された保健主事、一般教師、養護教諭と、学校歯科医、学校薬剤師等が、各自の職域別分科会をもつて、各城における問題解決を図り、発展を期するとともに、全日本より学校保健全体の振興を図ったのであつた。

し、戦後の新しい学校保健だ

れ、第7回の千葉大会によつてその問題解決の方途に不明な点が多々あつて、これを制度としてもりあげる以前に、地道な堅実な研究協議の活動として優先してとりあげねばならぬ。このような大会主題は、実はその間、学校保健関係者の打つて一丸としての活動が成立し、職域活動が全職域の共に協議できる問題別分科会の提唱となり、實に香川大会の翌年の第4回島根大会からこの行き方が続けられてきたのである。また同時に、新潟大会以来、保健法の祝賀とともに、その実施の徹底をも念願して開催されてきた。

以上が一昨年までの経過の大要である。

ところで、昨年度の青森大

会で、全日本の学校保健の振興と徹底に関する最大の問題は、児童生徒と終始生活を共にして最も強く影響を与える学級担任教師等一般教師の学校保健への関心と努力"であることを確認し、これを大会の旗じるしとしようということであつた。そして本年は、さらに「父兄等地域社会一般の協力」を加えて旗じるしとしようということである。

大会の会期はわずかに二日間の短時間である。全国の権威とエキスピートの効果的な活動は、タテの短かさを横の長さにおきかえる「全体協議より分科協議へ、分科協議より班会」の会長（東大名譽教授）
◇理事長重田定正（日出学園副園長）
◇常務理事岩尾泰次郎（日本学校医会会長）
（日本学校歯科医会会長）向井喜男（日本学校薬剤師会会长）
（日本学校薬剤師会会长）可児重一
（養護教諭部会長）原徹（京都教育委員会保健課長）
（東京教育委員会保健課長）安藤夏子
（順天堂大教授）野津謙（保健体育審議会委員・学校保健分科審議会会長）勝木新次（労働科学研究所長）
（埼玉県学校保健会会长）三田弘（愛知学院大教授）
（東京大教授）岡本清綾（愛知学院大教授）
（前東京都港区立高輪台小学校保健会副会長）千葉たつ
（東京歯科大学教授）塚田治作（日本学校保健会会长）竹内光春（日本学校薬剤師会会长）木村芳男（茨城県学校保健会会长）
（茨城県学校保健会会长）黒田邦博（全日本中学校長会教授）
（全日本中学校長会教授）

日本学校保健会役員一同
副会長・宇都宮市立一条中学校長高橋正吉（全国連合小学校長会副会長・浦和市立高砂小学校長）松尾道長（東京都学校保健会会长）亀沢シズ（東京都学校歯科医会会长）永山芳男（日本学校薬剤師会副会长）竹内義之（日本学校保健主事会理事長）林弥助（日本PTA全国協議会会长）小塚喜四郎（前宮城県学校保健会長）八田宏（愛知県教育委員会保健厚課長）岩井邦利（大阪府教育委員会保健体育課長）大西永次郎（岡山県学校保健会会长）朔東民（福岡県学校保健会会长）五十嵐貞藏（横浜市学校保健会長）
◇監事長倉邦雄（洗足学園教頭）
部重徳（日本学校歯科医会監事）
保正憲（日本学校薬剤師会常任理事）
保健と展望 保健と校長（中）
心臓管理費という名の予算で
ようこそ・山の子どもたち
地方だより
日本学校保健学会総会
学校保健用品の推せん

目 次

- 全国学校保健大会の回顧と展望
大会を開催するにあたつて
学校保健功労者の人々
学校保健今昔（その一）
学校医史略
(1)
保健と校長（中）
心臓管理費という名の予算で
ようこそ・山の子どもたち
地方だより
日本学校保健学会総会
学校保健用品の推せん

文部大臣の表彰をうける

学校保健功労者の人々

11月10日

|| 学校長 ||

古堀角次（新潟県佐渡郡真野町立

真野小学校）多年新潟県の学校保健に寄与、特に行谷小学校長時代、健康優良校特選校として表彰され、同県学校保健の推進体として、関東甲信越静および全国大会にも指導者として活躍。

石川権二（金沢市立城南中学校）

大正8年来誠心誠意教職に当たり、戦後は学校保健の普及推進に貢献し、県学校保健会の設立運営に寄与、保健教育、管理向上を図り、各種研究会、学校保健大会等に講師、指導者として貢献。

青木一英（大阪府立旭高等学校）

生徒の健康管理、指導が学校の経営管理の重要な領域たるを体し、環境管理、保健教育の整備改善、充実に成果を挙げ、府立高校保健研究会、保健主事会、近畿地区保健主事協議会に尽力頗著。

地黄文晃（大阪市立大宮小学校）

保健について教育当事者を啓蒙、職員をして積極的にこれに関与するよう仕向けての健康の基盤と父兄に教育の基盤とを説いた。

広く一般の理解と協力を深めるために

前年の青森大会では、特に「一般教員の理解と関心を高める」というのが主題であったが、学校保健が充分な伸展をみない原因は、単に一般教員のみならず、こどもをとりまく家庭、さらには地域社会にも深くひそんでいるようにおもわれる。そこで、これを具体的にほりさせて問題の究明を開に向つて進む考え方を立つべきだとして、本大会の標題を設定したのである。これがつて大会の全行程を通じ、つねにこの標題をふんまえて研究討議が進められることを期待し、具体的、実践的で、つぎのような運営をすることとした。

小西治郎（山口県豊浦町立小串小学校）現在校に赴任以来、健康教育中核の学校経営に業績をあげ、地域社会の保健思想を啓蒙、郡学校保健委員会、郡小学校長会長として保健教育の指導者、健康優良校として連続、県教委員の表彰をうけている。

|| 保健主事 ||

土屋 琢（山梨県立都留高等学校）保健主事として業績をあげ、常に研究に精進、県学校保健会、県学校保健主事会、高校保健会等の要職をつとめ、県学校保健の指導者として業績顕著である。

|| 学校医 ||

渡部 均（秋田県湯沢市立湯沢東小学校）積極的に健康診断、相談、事後措置にあたり児童の健康問題解決に努力、養護学級をも考案指導し、長期休暇前後の健康相談を実施、県市学校保健会に要職にあり、貢献大。

宮崎 悅（埼玉県立浦和高等学校）多年学校医として、また学校保健会、学校医の要職にあり、学校保健の進展のため、その任務に尽瘁

その功績はまことに顕著である。

山崎一雄（千葉県成田中学校）児童生徒の保健管理、指導に貢献的活動を続け、洗眼治療の無料実施、衛生施設の寄附、また県の面でも適切な指導を行なう等、地域父兄の感謝的。郡学校保健会副会長として学校保健の向上に多大の貢献をした。

野田盈進（東京都千代田区立永田町小学校）学校医として誠実に学校保健の進展に協力し、児童生徒の保

芽生え、根をはることを願つて

大会を開催するにあたつて

静岡県教育委員会内 学校保健大会事務局



武田薬品

丈夫に…大きく…

お子様用…総合ビタミン剤

パンビタンペレー

(50錠 300円)

3つの特長 ①ドロップのようにしゃぶれます ②吸収が大変よい ③お子様がよろこんでおのみになります

大阪市道修町 武田薬品工業株式会社 (東京・札幌・福岡)

健康管理、指導に尽瘁
した。

雨がある日に

青山松次（神奈川県横須賀市立追浜小学校）14年学校保健の推進に尽力、全市の保健主事、養護教諭に現職講座を開設、地域の学校保健の向上にも尽力。県の健康優良校・優良児童の審査委員、各種保健大会・研究集会の指導者として功績は大きい。

（中学校）17年余、学校医として活動
学校保健団体役員として学校保健事業の企画、発展に精魂を傾け、学校医は勿論、広く学校保健関係の先達的指導者であり、学校保健の推進に寄与された功績は大きい。
小松邦太郎（鳥取県八頭郡知頭町立山郷小学校）42年余、山間へき地の学校保健に努力し、児童の健康管理の成果をあげ更に地域家庭の指導に尽瘁、学校保健向上に研究を続け広く全国の新しい保健管理状況を調査研究、学校医の中心として郡内モダル検診を継続実施している。
大屋正夫（島根県邦賀郡三隅町立岡見小学校）37年間、誠心学校保健に尽瘁、児童の保健教育は勿論、学校環境として家庭、一般社会にまでその指導がゆきわたり、その功績は顕著である。
頼島 稔（広島市大下学園祇園高等学校）児童を囲む地域実態に立脚具体的実践を長年にわたり推進、成績をあげ、学校、家庭、社会への寄与大。トラコーマ撲滅、寄生虫卵の検査に努力、短爪運動を提唱。学校保健団体役員として地元の信頼厚し。
壱井興彦（高松市立四番町小学校）14年間献身努力、近視の予防に格別の研究調査を重ね、多大の功績をあげた。市学校保健会長として積極的に活動、人格円満、学校保健に献身的な熱意の持主である。
浦岡興家（愛媛県大洲市立大洲小学校）30年余にわたり保健管理、指導は勿論、裁縫室の置替えその他に私財を投じ、児童の体位向上著しく学校保健委員会、学校給食が文部大臣の表彰をうけた。勤務校は固よりPTA全域に献身的努力をしている。

古味信房（高知市立小高坂小学校）責任感旺盛、学校医としての協力は極めて積極的。児童優先の処置がとられ、学校、地域民の信頼は厚い。保健衛生関係資料を寄贈、地区民生委員として地域の福利厚生面にも貢献している。

宇都宮節（福岡県田川郡金田町立金田小学校）学校保健諸行事に献身学校病予防、特にトラホーム、寄生虫の予防、治療に努力、成果をあげた。県教委の研究嘱校となるや適切な指導助言をし、特選の健康優良校の表彰をうけた推進者である。

余瀬重信（長崎県立諫早農業高等学校）諫早市立諫早中学校）74才の今日でも献身精勤、生徒の保健を環境・発育・疾病等の調査資料により指導、検診医療に努め、また市学校保健会創設に活躍、7年間会長、市教育委員として学校保健充実に貢献。

池田鶴来（熊本県八代市立八代小学校）市内児童生徒の眼の衛生に献身、33—35年の3年間は勤務校の外希望に応じ無報酬で診断、指導。36年、勤務校の外小学校、幼稚園も他の眼科医の中心となつて企画実施。37年市教委に専門医配置に協力した。

内尾金蔵（大分県下毛郡三光村立真坂小学校）多年にわたり児童の保健管理、指導に從事、健康生活の保健向上に貢献。県郡の学校保健会の要職にあり地域学校保健の推進、学校病对策を中心に行なう。会発展に尽力しその功績まことに顕著である。

山県建二（宮崎県立日南高等学校）生徒の健康管理は勿論、職員の健康管理にも積極的に参画、常に健康活動指導を怠らず、レントゲン検査、う歯、寄虫生の撲滅等、学校保健活

活動の基盤を確立し、その功績は大
蔵刈実雄（鹿児島県川内市立川内
小学校）県学校医会の設立に尽力、
活躍、学校医としては県の学校保健
優良校に仕上げる原動力となり、県
学校保健モデルスクールに指定され
たのも氏の尽力に負うところ大きい
II 学校歯科医 II

上田米三郎（北海道立室蘭清水丘
高等学校）28年間、学校歯科医とし
て保健衛生思想普及、口腔衛生管理
に努力、歯科医師会に学校保健部会
を設立、会員の意識向上、待遇改善
に努め、その人格伎倣により、道内学
校保健推進に寄与の功績大である。

橋本勝郎（青森県八戸市立八戸小
学校）36年度保健文化賞、第1回奥
村賞を受賞した八戸市学校歯科医会
の生みの親、育ての親で、県の学校
歯科衛生、学校保健の振興に尽力し
た功績は抜群である。

八巻金藏（福島県相馬郡鹿島町立
八沢小学校）歯科衛生の面から学校
保健の重要性を強調、学校歯科衛生
管理、指導に努め、健康診断の事後
処理の完全実施、農村地帯の集団治
療、予防に尽し、学校および地域社
会の保健衛生向上に尽力、功績大。

藤木昇（横浜市立豊岡小学校）
17年間児童の歯科保健向上に尽力、
市学校歯科医会副会長として全市の
学校歯科保健の推進者。日本歯師会
の要職にあり、日本学校歯科医会の
事業援助に努力、学校保健法の成立
に積極的に努力、学校保健委員会、

ニチバンの
絆創膏

脳の働きをよくする
ギャバ製剤 ガンマー・アミノ酸

県学校歯科医会活動の推進の中心者として信任厚く学校保健振興に貢献今岡太久馬（奈良県立山辺高等学校）33年間児童生徒のう齒予防、治療に全生涯を傾注、村内の口腔衛生思想高揚に成果をあげた。献身的努力により処置率70～100%で貢献。健康優良校児童の審査員、適切な指導助言で学校保健推進に功績は大きい。奥野半藏（兵庫県尼崎市立西小学校）永年にわたり学校保健推進に功劳あり、県歯科医会長として学校歯科保健の行政、技術、学術面に大改革を計画、日本歯科医師会副会長に就任するや全国的にこれを進め歯科医の団結統一を実現した功績は多大。戸川恒雄（岡山県赤磐郡吉井町立仁堀小学校）学校保健全般にわたり努力、地域社会の保健意識高揚の原動となり大衆啓蒙に献身、県学校保健会、日本歯科医師会の要職にあり全国的に斯道に寄与するところ大。

剤師会長として適正円滑な配置に尽力。学校安全会の結成に尽力、県市学校保健会の要職にあり発展に尽力。
II 養護教諭 II
小沢千奈美(水戸市立城東小学校) 20年にわたり学校保健指導に当り、養護教諭部会の結成と発展に貢献、36年学校で保健読本を発行、児童の健康管理に協力を得、また県健康手帳委員として健康手帳を作成、その努力と功績は顕著なものがある。
大橋サク(栃木県今市市立今市小学校) 明朗快活、企画実行、統率力に富み、校内保健活動活発化の機構運営を考案、地域社会関係機関への協力等、努力甚大。県養護教育研究会副会長、保健会部会長。大会等の研究発表等、研究、実践の成果大。
広井久恵(前橋市立中央小学校) 県養護教員会副会長の要職にあり、全県的立場で学校保健の振興に寄与。学校の職責をよく果し、健康優良校の県代表として育成した功績大きき。養護教諭の模範と云いつべきである。
室井光子(東京都立久留米養護学校) 永年養護教諭としてその職務に精励し、東京都養護教員部会の要職にあつて後進の指導研修に努力してきた、その功績は顕著である。
田村ウタ(福井県武生市立武生西小学校) 26-32年に県一健康優良校に選ばれる基礎を培い、33年には日本一健康優良校として業績全国的に認めらる。常に子供の保健に着実に精進。県養護教員部会長として運営に努力、後進指導の功績も大きい。
歌千代(京都市立明倫小学校) 30-31年府連会養護教員会々長として会員指導、運営に努力、32年来市養護教諭研究会長として全市的活動、

近畿養護教育研究会の中心人物。小川小学校が日本一健康優良校となつたのも同教諭の活動の結果ともいふる。

藤田千代子（神戸市立諫訪山小学校）18年間優れた見識技術で学校保健管理と指導に専念。学校保健計画樹立、健康診断、事後措置に顕著な成績をあげ、児童教職員の健康の配慮、指導に努め、市養護教員研究会市学校保健会の要職にあつて活動。

片山知善子（徳島県立新野高等学校）昭和12年満洲国国民学校養護婦勤務、戦後も児童生徒の健康管理、指導に努力、県養護協会を発足させ会長として会員の掌握、研修に努め基礎を作つた。全県的に長期にわたり献身的努力は功績まことに顯著。

II 学校保健組織体

宮城県桃生郡矢本町立矢本小学校保健委員会（代表者佐々木強寿・校長土井卓朗）生命尊重を中心とした保健活動を推進、学校・地域社会の実態の上に年次計画を立て学校保健の意識を地区家庭まで滲透、学習活動、児童の生活態度から家庭の衛生環境の改善に成果をあげている。

東京都港区立高輪台小学校保健委員会（代表者佐藤たま・校長堀内泉）設立以来関係地域社会の協力を得て活動発展を続け、学校保健事業の具体的推進と保健教育振興の推進力となってきた。

京都府相楽地方学校保健委員会（代表者高田喜太郎）郡内に保健教育研究指定校を設け34年までに郡内小中高24校全部にわたり研究発表会、保健施設の改善、各校の保健委員会、児童委員会等の運営の中心となり、毎年健康優良校を選出、各種

学校保健用品の推せん

〔敬称略〕

事業を実施し、着々と保健教育の理想をめざしその研究母体として活動。

〔敬称略〕

学校保健用品の推せん

本会は、前号の3会社の品目に続き、本会学校保健用品推進規定により、学校保健用品審査委員会において審査の結果、左記会社に対し、重田理事長名をもつて、10月12日、推せん状を交付した。

(推せん状番号第24号)

東京都中央区八重洲六ノ一
理工協産株式会社

品目 エクリンテスター 塩素測定器
特性 含有塩素の測定方法は、従来危険な塩素溶液を試薬として使用するのが殆んどであるが、本品はそうした危険な操作は一切不要で、ただ数CCの検水を検液筒に入れるだけで、塩素濃度に応じた発色をおこし即座に濃度範囲が測定できる。一個のゲル状試薬は一五〇回乃至二〇〇回使用可能で、試薬の取りかえも容易にでき、価額も従来のものよりも安価である。

低濃度用と高濃度用の二種がありどちらも長さ11Cm径3Cmほどの円筒形のものである。

用途 R型(低濃度用)○・二一〇・四一一・OPRM:飲料水、ブル用水等の検査に適する。A型(高濃度用)五〇一〇〇一二〇〇P
Pm:野菜、食品用器具の殺菌消毒用液の検査に適する。

学校医

このあいだ日本学校医会長岩尾博士から『学校保健今昔』を書けたお申付あり。ご承知の通り学校保健も、往昔の学校衛生進展状況から、戦後において急速な転化を見、その間の推移、私ども田村のよくこれを筆に、また口になし難きことはもとよりである。或いはこれを『私見学校保健隨想』とか『隨筆』としてもするのが至当と思ふが、以下いさか記してみることとする。

学校保健今昔

その一

京都 豊田 順

◇つぎに中年者が次位にあることは勿論で、漸く斜陽ともなれば、かえつて登校の余裕もできました学校衛生の興味も増してくるからでもあるう

学校医を希望するとき、
息が必要であつた。世俗に
なると患者が増えるとか、
なしに名譽職になつたよう
に四十五年を過ごし、今年
なる。嗚呼、年は取りたく

◇学校自体の学校保健関係者、各々その基礎をますます堅固にして、各経験もある。

校衛生大会が開かれ、本会の機構改革が叫ばれて、大いに会員の賛成を得たことあり、老生ひとり、下意上達の方途を強く推し進めるべきであ

校医の年令		数
年	勤続	
20~29才	3人	3人
30~39	29	29
40~49	34	34
50~59	71	71
60~69	33	33
70~79	4	4
80~89	1	1
未満の順序となつてゐる。		
10年未満	130	130
20年 "	30	30
30年 "	17	17
40年 "	17	17
50年 "	3	3

◇おもに、在職10年未満が絶対多數を占めていることは、近時学校増設のため多くの医師を要すること、学校附近に住みなれた医師の不足など

◇学区会協議の上には、さらに市会の協議々決を要するので、学区会で一悶着が起つたとき、学校医手当を一括市会直属にすればそれが一挙に解決することに気がつき、そこで政治的な策をはたらかせて、学区会の手中からその権限を奪つたこともあり、これが校医会の鼻高い話の一つになつてゐる、そんなこともあつた。

会の運営を活発にして、動き出さぬかぎり、実績に多くを期待することはできないと信じる。各々、小、中高校の円滑な横つながりの成長があつて、然る後に近隣各学校の活動が注目を惹くにいたり、次いで全市が注目を惹くにいたり、次いで全市と順次頭をもたげてくるのが目立つようになる。

◇また、所在の便不便も心にかけねばならぬ。都市のように電車賃だけで集会できる便利な土地もあり、偏土のために時間と金が多額に費されるところに住む人もある。広い日本では、なかなか簡単には片付けにくい問題があるのである。

日本学校保健学会総会

日本学校保健学会（会頭栗山重信博）

士)では、本年度総会(第9回)を11月7・8日、東京薬科大学講堂で開催。特に、総会の会長は東農大学長村山義温氏、副会長は東大教授小栗一好氏、事務局長には日本学校薬剤師会長可児重一氏が当られた。

57、特別報告3のほか、特にシンジウムとして次の二大テーマがとりあげられたのが注目をひいた。
一 般討論会
二 学校環境衛生——大阪市における学校環境衛生調査成績・学校照射の検討・温熱条件。
三 文化保護と精神衛生——現代中学校。

生と精神衛生の大学における精神衛生問題の発見と指導・学校医として望ましい学童の精神衛生・高等学年における精神衛生の実際について。

新發壳

マッ白な歯をつくる
マッ白な歯磨

ホワイド ライオン

心臓管理費といふ名の予算で

市立中学一年生の運動選手志望者の心電図所見

松江市学校医会

松江市においては市立
中、小学校の生徒児童

はじめに 松江市においては市立中、小学校の生徒児童で、定期体格検査において明らかに心臓疾患と診断されたものおよび心臓に雜音を聴取し心臓疾患の疑いある

脳に教育を取扱いし心臓疾患の見いだるものに對しては、心臓の精密検査が実施されることになり、また同時に、新しく中学に入学したものの中で運動選手を志望するものについても同様に心臓の精密検査を行なうこととなり、昭和37年度の市の教育予算に心臓管理費として二百名分の経費が新たに計上された。

これが選手として適格者か否かを早急に決定する必要があるので、この検査を行なつたが、ここに心電図所見を略記して参考に供したい。

各中学校の在校生徒に對し検査人員の割当を行ない、運動選手として初めて入部したものについて、特に部を指定せず全般的にして自覚症状の訴えあるものを主として受診せしめた。市内8中学、受診人員は、男55名女38名、計93名である。

異常所見票　心電図は、心電図各棘波の異常所見の個人票を作成し、これにより異常所見を総括分類した。

(註・誌面の都合によりこれを掲示できないが、縦の欄に異常所見の項

めたものは、心電図学分類では次ぎのとおりである。(数字は人數)
a 洞性頻脈 7 b 洞性不整脈 1
c 心室性期外収縮 1 d P.Q.の延長 2 e P の尖鋭 4 f 右脚不完全プロツク 2 g 右脚完全プロツク 2 h S.T.の下降 4
(註・以下前記 a - h の各例についての詳細なデータが示されているがこれを割愛して、それにつけられた説明だけを次ぎに掲げる。)

松江市学校医会
勤選手志望者の心電図所見

目として、Pの異常へ増大、分裂二相性・陰性、平低∨QRSの異常へ幅の増大、ふれの増大、ふれの減少、形の異常∨Tの異常へ平低化、陰性化・二相性、增高∨STの異常へ下降、上昇、偏位∨PQの異常へ延長、短縮∨総括所見の各項を設け横の欄にI, II, III, aVR, aVL, aVF, V₁, V₂, V₃, V₄, V₅, V₆の各項目、備考として既往症、レ線像、血圧（最高・最低）の記入項目がある

検査成績

心電図所見により心電図所見により異常を認めたものは、心電図学分類では次ぎのとおりである。（数字は人數）

つて各個人別にその原因を究明することが必要である。

硬化、心筋梗塞、リウマチ、梅毒、ジフテリア、高血圧、心筋炎等に起因する。右脚プロツクは老人、高血圧、冠状動脈硬化にみられるが、外見上全く健康な人にも多く見られ比較的臨床的意義を有しないことが多い。

STの下降(○・○五mV以上)が基線から○・○五mV以上偏位したときは異常とされる。STの下降は心室肥大、狭心症様発作、心筋障害、ジギタリス使用時、脚プロツク、心室性期外収縮などの場合みられる。正常でも頻脈時に認められことがある。ST下降はその形状から、肥大型下降、盆状下降、冠不全型下降などに分けられる。

考察および結果 心電図所見のみから運動選手としての適・不適を決定することはあ

まりにも大胆かつ無責任のそしりを免れないが、心電図学上明らかに心臓疾患の存在が推定される場合もある。

判定すれば次ぎの如くである。
心室性期外収縮を呈する……1名
右脚完全ブロックを呈する……2名
S Tの降下を呈する………4名
以上の7名は、他の諸検査成績を
別としても、運動選手としては不適
者であると判定する。

すなわち、検査人員93名中、7名（七・五%）が不適格者である。従来はこのような心臓の精密検査が行われず、運動技術が優秀であるというだけで、鍛錬を加えられたのである。STの下降を呈するものの中には狭心症発作の場合に認められ

よい子のビタミン

総合ビタミン・ミネラル剤

小粒 ポポシ-S

11

20錠 200円・45錠 420円・100錠 850円



